

2014年05月26日

日本金融学会会員各位

日本金融学会2014年度秋季大会  
プログラム委員会

## 日本金融学会 2014 年度秋季大会のご案内と報告論文の募集について

日本金融学会 2014 年度秋季大会を 2014 年 10 月 18 日(土)・19 日(日)の両日、山口大学 (吉田キャンパス) において開催することとなりました。ここにご案内申し上げますとともに、自由論題の報告を下記のとおり募集いたしますので、奮ってご応募ください。

### 記

**応募期限：2014 年 6 月 30 日 (月) 当方必着** (いずれの方法で申し込む場合も同じ)

**応募資格：**日本金融学会の個人会員、および賛助団体・特別会員の登録会員

※ 非会員の場合は、報告申し込み以前に、学会への入会申し込みを済ませておく必要があります。

**応募内容：**以下の 1 および 2

1. 申込書：別紙「報告申込書」に以下の内容を記載したもの

- (1) 報告希望代表者氏名 (日本語・英語の双方)、所属 (日本語・英語の双方)
- (2) 報告論文共著者氏名 (日本語・英語の双方)、所属 (日本語・英語の双方)
- (3) 報告論題 (日本語・英語の双方。印刷配布されるプログラムに掲載を希望する方に○をつける。)
- (4) 報告言語 (日本語・英語のうちいずれかを指定)
- (5) キーワード (3語)
- (6) 報告の該当セッション (以下のセッション案から選択)

A 金融理論	B 金融政策	C 金融仲介機関	D 金融市場分析
E 証券投資分析	F 行動ファイナンス	G 国際資本移動	H 為替・通貨
I コーポレート・ガバナンス	J 企業金融	K 金融危機	L 金融史
M 金融マクロ	N 地域・中小企業金融	O 各国金融	P その他

(7) 報告希望代表者の住所・連絡先 (メールアドレス、電話・FAX を含む)

(8) 希望する討論候補者 2 名の氏名、所属、住所・連絡先 (メールアドレス、電話・FAX を含む)

2. 報告内容を示す資料：「報告要旨」(2部)と「フルペーパー」(2部)

なお、フルペーパーのない申し込みは無効となりますのでご注意ください。

**応募方法：**以下の①②いずれかの方法で申し込んでください。「報告申込書」の WORD ファイルは学会ホームページの「全国大会」ページで入手できます。採択された場合、「報告要旨」は学会ホームページにそのまま掲載されますので、別紙「報告要旨の執筆要綱」に従って作成してください。

① 学会ホームページの「全国大会」ページにある「大会報告申し込み」をクリックし、必要事項を記入して申し込む。注：その際、「報告申込書」「報告要旨」「フルペーパー」の各ファイルをアップロードすることが要求されます。

② 下記メールアドレス宛に、「報告申込書」「報告要旨」「フルペーパー」の各ファイルを添付して送る (不可の場合は CD-ROM または USB メモリを下記住所に郵送)。

さらに、いずれの方法で申し込んだ場合も、「報告申込書」(2部)、「報告要旨」(2部)、「フルペーパー」(2部)を印刷して、下記住所に郵送してください。応募期限はすべて同じです。

**応募先：**〒753-8514 山口県山口市吉田 1 6 7 7-1 山口大学経済学部

日本金融学会 2014 年度秋季大会プログラム委員会委員長 兵藤 隆

メール：thyodo@yamaguchi-u.ac.jp TEL：083-933-5533 (研究室)

なお、報告者・討論者の決定はプログラム委員会が行います。審議の状況によっては、ご希望に添えない場合もありますことを、あらかじめご了承ください。以上

## 報告申込書

<b>報告希望代表者氏名 *</b>	和文	英文
<b>報告希望代表者所属 *</b> 大学院生の場合は「〇〇大学 大学院生」と記入してください。	和文	英文
<b>報告論文共著者氏名 *</b>	和文	英文
<b>報告論文共著者所属 *</b>	和文	英文
<b>報告論題 *</b> 配布プログラムに掲載を 希望する方（和文または英文） に○をつけてください。	和文	英文
<b>報告言語</b>	日本語	英語（いずれかに必ず○）
<b>キーワード(3語)</b>		
<b>報告論文の該当セッションに○をつけてください。</b>	A 金融理論 B 金融政策 C 金融仲介機関 D 金融市場分析 E 証券投資分析 F 行動ファイナンス G 国際資本移動 H 為替・通貨 I コーポレート・ガバナンス J 企業金融 K 金融危機 L 金融史 M 金融マクロ N 地域・中小企業金融 O 各国金融 P その他	
<b>報告内容</b>	「報告申込書(この用紙)」(2部)、報告言語で執筆された「報告要旨」(2部)、「フルペーパー」(2部)を印刷して郵送し、それとは別に、3つのファイルを学会ホームページ経由、あるいはメール添付の形で(不可の場合はCD-ROMかUSBメモリの郵送にて)お送りください。報告要旨の様式は別紙「報告要旨の執筆要領」を参照。	
<b>報告希望代表者住所</b>		
<b>メール</b>		
<b>電話・FAX</b>	TEL	FAX

\*がついている項目については、必ず日本語と英語両方の表記をして下さい。

希望する討論候補者2名についてご記入ください。

① 氏名	
所属	
住所	〒
メール	
電話・FAX	
② 氏名	
所属	
住所	〒
メール	
電話・FAX	

※討論者はプログラム委員会が決定しますので、上記の方々が討論者とならない場合もあります。

**応募期限 2014年6月30日(月) 当方必着 (学会ホームページ経由、メール、郵送は同じ締切日です)**

## 報告要旨の執筆要綱

日本金融学会ホームページ委員会

大会準備委員会・プログラム委員会より、皆様に報告要旨の執筆依頼があったことと存じます。この報告要旨は、学会のホームページ(HP)に掲載されます(\*)。皆様の作成された報告要旨ファイルは、そのままPDFファイルに変換され、HPに掲載されますので、以下の執筆要綱を必ずお守りくださるようお願いいたします。HPに掲載されたファイルの内容と体裁につきましては、ご報告者の責任となりますので、あらかじめご了承ください。

\* 2008年度より、従来報告要旨を掲載しておりました『金融学会会報』(紙媒体)は廃止され、HPのみの掲載となりました。

なお、作成していただいた報告要旨ファイルは、学会ホームページ経由、あるいはメールに添付する形で(不可の場合はCD-ROM・USBを郵送する形で)大会準備委員会・プログラム委員会に提出していただきます。提出期限につきましては、大会準備委員会・プログラム委員会からの指示に従ってください。

### <執筆要綱>

**ファイル名** : 次のルールに基づいて作成してください。すべて半角で、(2014年度秋季を意味する)14F- を先頭に付け、第一著者のフルネームを英小文字で表記する。たとえば、14F-fujiwarahideo.doc のようになる。かりに2つの報告を行う予定がある場合は、区別するために、フルネームの最後に1、2の番号を振る。たとえば、14F-fujiwarahideo1.doc のようになる。

**ファイルの種類** : MS-WORD (不可の場合はテキストファイル)

\* Word2007、2010で作成された場合は、Word2003に変換してください。

**用紙サイズ** : A4判

**用紙余白** : 上下左右とも30mm(85.05pt)を標準とする。

**1枚あたり字数** : 全角計算で40字×34行を標準とする。

**枚数制限**: 1枚(サーバーの容量もあり、必ずお守りください。)

**フォントの種類** : 日本語はMS明朝、英語・英数字は半角Centuryを標準とする。

**フォントのサイズ** : 10.5ポイントを標準とする(タイトルは別)

**タイトル** : 12ポイント、太字、センタリング(複数行可)

**所属・氏名** : 右寄せ(所属は機関名のみとし、部署名は省略)

注: 大学院生の場合は「\*\*大学大学院生」と表記

各段落の先頭に1マス分(英語の場合は1タブ分)の空白を入れる。

具体例として、学会ホームページ<<http://www.jsmeweb.org>>の全国大会ページに掲載されている過去の大会の報告要旨を参照してください。